

# 山城

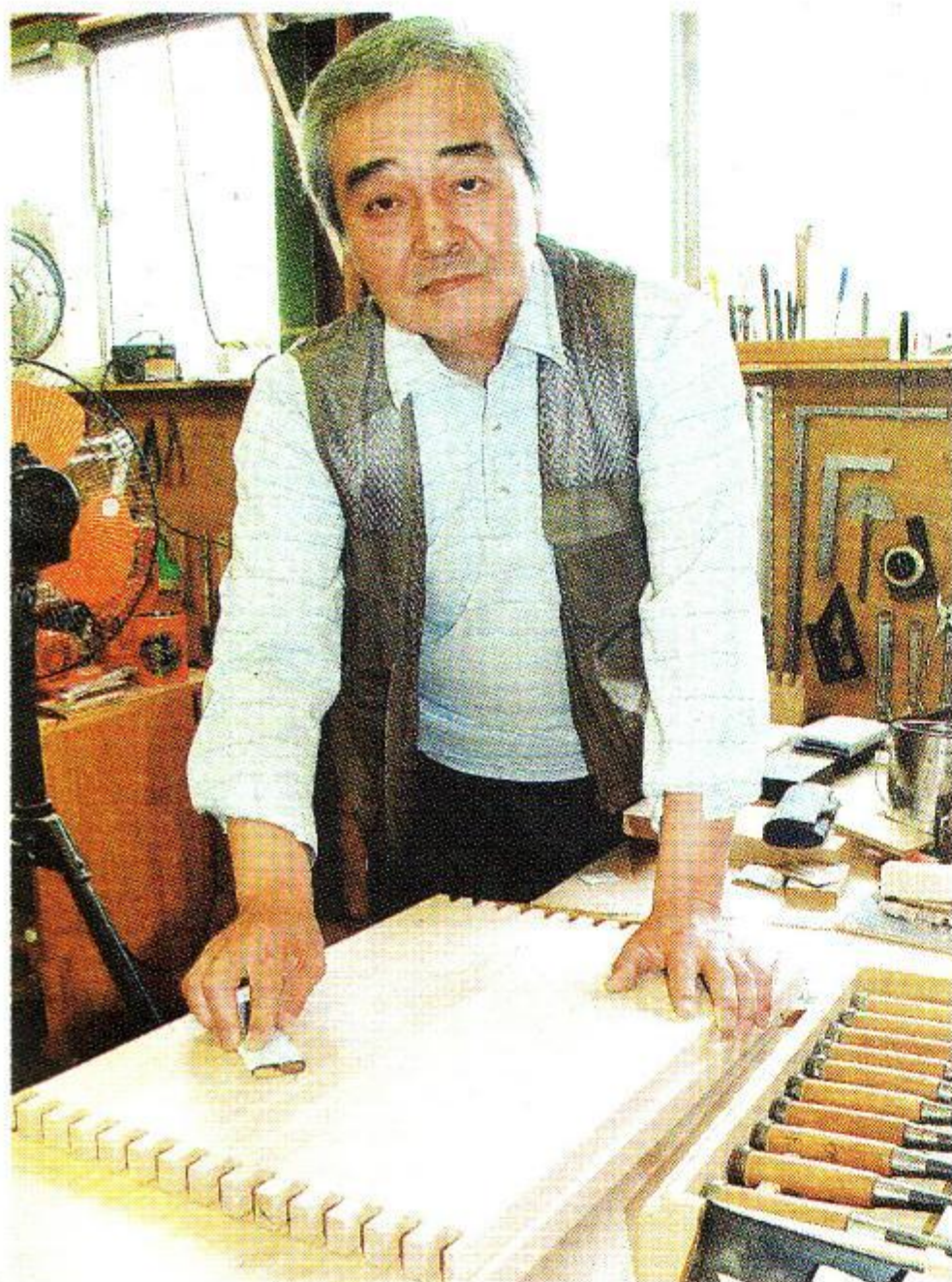


## 茶煙り やましろ

テーブルや遊具、モーターの肖像画を立体的に表現したアート作品。和束町撰原で木工の工房を構えて4年目になる。「まだまだ素人。勉強中だから、どんな注文でも受けています」。そう苦笑するが、端正でぬくもりあふれる作品が、工房を訪れる人たちを魅了する。

大阪府枚方市出身。市内の中学校で音楽教師を務めていたが、教頭だった2003年春に55歳で退職した。「人生は一度きり。定年を前に、これからどう生きるのかを見つめ直したい」。将来へ

### 和束町に工房を構える木工職人 宮村 邦俊さん (62)



### 客の願い込め 妥協せず

の疑問がわき、めどもなまま決断した。自宅のいすが壊れたのを機に、木製のいすを自作した。教師の時、生徒のために木のパズルを作った楽しさがよみがえり、工房の場所を探した。約半年かけて改

作品には、客の細かい要望を反映させる。出来には妥協せず、何度もやり直すことも。「すごい物ができた、と言われた時は、『やった』という気持ちになる」

町内外から工房を訪れる人との会話も楽しみという。「いろんな思いを抱いた人が、世の中にあることをここで学ばせてもらっている。だから、みなさんの願いを込めた作品をつくりたいんです」と語る。

茶畑や早朝の雲海など、町の風景を写真に撮り続ける。町を紹介するDVDも作成し、茶のPRイベントなどで上映されている。「和束には、絵になる風景が必ずどこかにある。町の人にも喜んでもらえたら」。宇治市伊勢田町。(吉岡宏)